

Pick-up\_#1

## NUTEC NC202 Comp BOOST for ENGINE

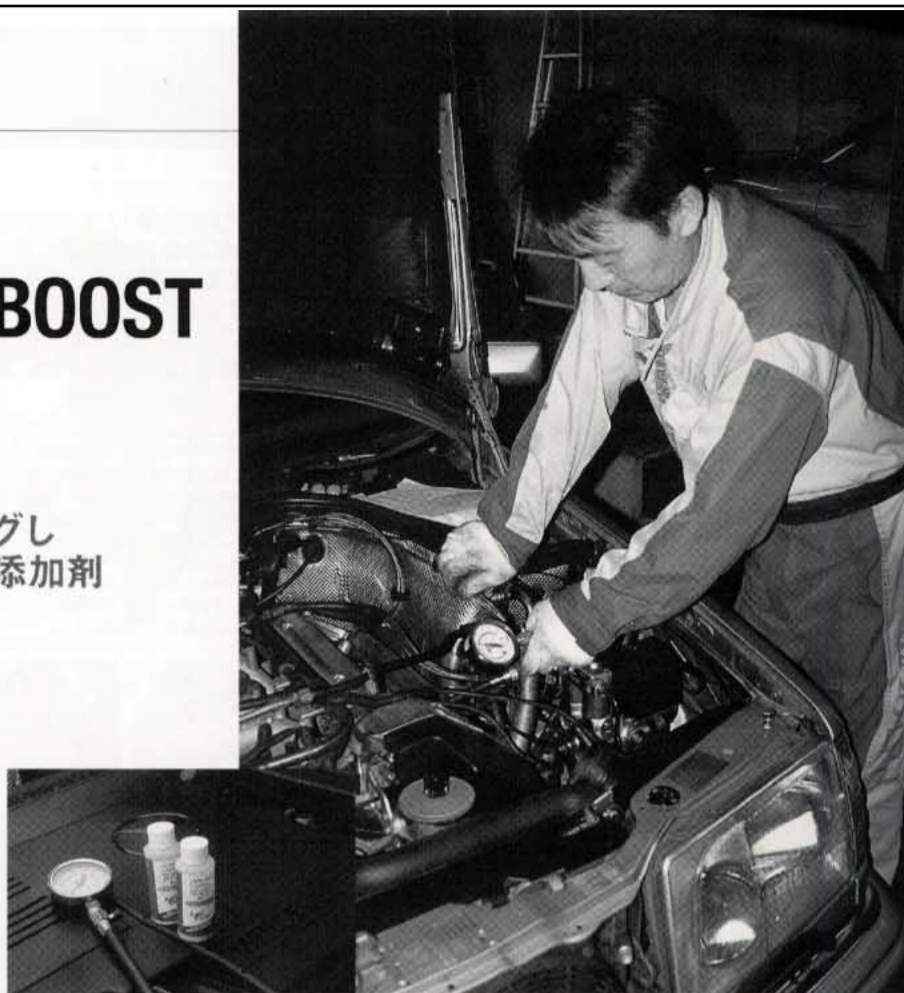
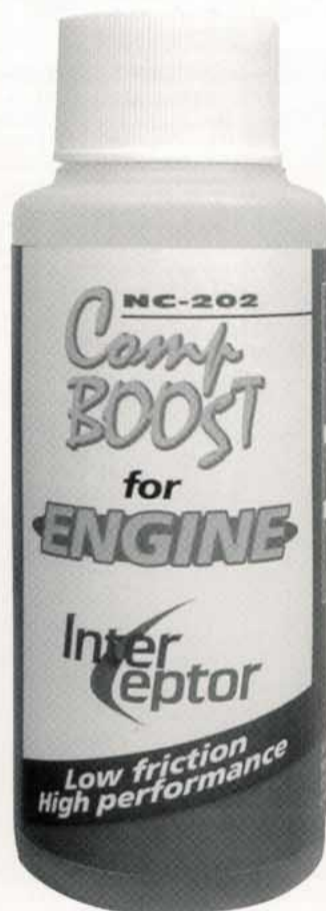
ニューテック・NC202コンプブースト フォーエンジン

価格：6300円（税込み/60ml）

問い合わせ：ニューテックジャパン ☎045-929-1610

www.nutec-japan.com

シリンダー内壁をコーティングし  
燃焼室の機密性を取り戻す添加剤



プラグホールから燃焼室内に直接添加するから効果も早い

フランスの某有名オイルメーカーのエンジニアが独立し、より高性能なオイル作りを目指して創設したメーカー“NUTEC”は、オイルにこだわりを持つ人だけでなく、クルマ好きの方々ならその存在に注目し、すでにその製品のハイパフォーマンスを体験済みの方も多しことだろう。そのニューテックが手がける新ブランド“インターセプター”から様々なレーシングケミカルがリリースされているのだが、特に走行距離の進んだクルマにお乗りの方にぜひ注目してほしい添加剤が、ここで紹介する「コンプブーストforエンジン」だ。

これまでもエンジン添加剤というのは、それこそ数え切れないほど多くの製品がリリースされてきたが、その多くはエンジン出力、燃費、レスポンスの向上などとにかく夢のように全ての性能の向上を実現する、と謳っているものが多かったように思う。ではそれら全てが本当に実現できたのかというと、かなり疑問に思わざるをえなかった。そんな中、このコンプブーストforエンジンは燃焼室の機密性の向上による圧縮圧力のアップに目的を絞った添加剤として注目できるアイテムだ。その使用方法は各気筒のプラグを外し、燃焼室内

に直接添加剤を注入するというもので、良くありがちなエンジンオイルに適量を混ぜるだけでOK、というタイプと違って間違いなく作用したい部分に直接行き渡るということからもその説得力は高い。また添加前にエンジンを十分暖めし、また添加直後にも15分くらいアイドリングさせることで、熱の作用で化学的にシリンダー壁にコーティングを施すという施術方法も納得のゆくものだ。というようにこの添加剤、いわゆる今までのオイル添加剤とは違い、かなりその効果に期待の持てるアイテムではあるのだが、やはりその効果は実際に試してみなければ分からない。そこで早速、この添加剤を約9万2000km走行の92年式W124 400Eに処方して、実際の圧縮圧力の変化をテストしてみた。添加前の圧縮圧力は全体的に低めな上に、各気筒間で最大2.0キロの差が見られた。そこで右ページで解説するように、規定の方法でコンプブーストforエンジンを添加後、圧縮圧力を測定してみたところ、実にほとんどの気筒で圧縮圧力の向上が見られた上、各気筒間のバラつきもかなり改善されたのだ。実走行のフィーリングでも、エンジンが力強く吹け上がるように感じられ、スムーズさも増した印象だった。ただしこの添加剤の効果は半永久的というものではなく、約2万km程度でその効果は薄れてくるという。

■圧縮圧力測定テスト結果



シリンダー	添加前圧力(kg/cm <sup>2</sup> )	添加後圧力(kg/cm <sup>2</sup> )
1番シリンダー	12.0	12.5
2番シリンダー	12.5	12.5
3番シリンダー	12.0	12.5
4番シリンダー	11.0	13.0
5番シリンダー	12.0	13.0
6番シリンダー	13.0	14.0
7番シリンダー	12.5	13.0
8番シリンダー	11.0	13.0

※圧縮圧力は添加前と添加後約15分ほどアイドリングした後に測定したものです。本家はアイドリング後、ハードな走行をせずに50~100kmほど走行することで、徐々に定着してより安定した状態になります。

□メルセデスオーナー注目のニューテックケミカル

**DF-TF ZZ-51**

価格：1ℓ 2100円、20ℓ 4万2000円(税込み)



既存のATFの概念にとらわれない多機能トランスミッションフルード

メルセデスオーナーにとって、ATF選びというのは本当に慎重にならざるを得ないものだろう。ATFの交換



ZZ-51は通常のATFに比べて、低フリクション、高極圧性、高伝達効率、粘度の安定性など、高いレベルで性能を両立している。

だけで、ATの調子を崩したというようなうわさは、枚挙にいとまがないからだ。そんなメルセデスのATにも安心して使えるATFが、この“ZZ-51”だ。便宜上ATFと表記したが、ニューテックではこのZZ-51をトランスミッションフルードと定義している。

すなわち、ATはもちろんATF指定のマニュアルミッションやパワーステアリング、シトロエンなどのハイドロサスペンション、4WD車のセン

ターデフなど、幅広い用途に対応するフルードなのだ。これは本来、ATFとして開発されたのだが、その性能を限りなく追求していった結果、それ以外にも幅広くトランスミッション全般に対応するマルチパーパスなフルードに仕上がったというわけである。ちなみにメルセデス用としては、純正ATF/承認ATF/DEXRON-2 Dに対応しているので、機械式AT、電子制御ATのどちらにも対応している。

**NC-200 Comp BOOST**

価格：3150円(税込み/50cc/R134a専用)

エアコン作動時のパワーロスを劇的に低減するAC添加剤

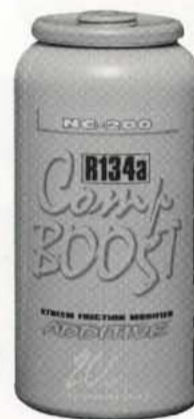
高年式車・ハイパワー車のオーナーさんには、あまり気にならない部分かもしれないが、低年式車やローパワー車にとってエアコンをオンにしたときの、パワーダウン感というのは深刻なものだろう。そんな低年式車オーナーに注目してほしいのが、エアコン作動時のコンプレッサーの抵抗を低減することを目的としたコンプレッサーオイル添加剤のNC-200だ。コンプレッサー内には内部の摺動部を潤滑するためのオイルが、エ

アコンガスに混ざって循環している。このオイルにニューテックの持つテクノロジーを注いだ添加剤を加えることで、コンプレッサー作動時のフリクションロスを減らし、コンプレッサーを駆動するために食われるエンジンパワーのロスを最小限に抑えるとともに、コンプレッサー自体の劣化も抑えることができるというもの。もちろん、エアコンシステムのシール類への攻撃性は一切なく、エアコンの効きまでも向上してしまう

という古めのメルセデスオーナーにはまさにうってつけな添加剤だ。



NC-200を添加するためには、通常のエアコンガスを入れるのと同じような専用ツールが必要となる。



**コンプブースト  
forエンジン使用方法**



1

エンジンを十分に暖気後、エンジンを停止して各気筒からプラグコードを抜き、プラグも取り外し、まずは初期状態の圧力を測定。



2

事前に容器をよく振ってから、スポイトなどを使ってコンプブーストforエンジンを容器から、各気筒10cc/気筒容積500ccを目安に吸い取る。



3

プラグを抜いたホールから燃焼室に直接、コンプブーストforエンジンを添加する。V8エンジンの400Eでは2本必要だ。



4

各気筒に添加後、プラグ・プラグコードを元通り戻し、エンジンを掛ける。始動直後は大量の白煙が出るが、これは問題ないもの。



5

約15分のアイドリング後、3千回転を上限に、白煙が出なくなるまで数回レーシングを行う。今回はその後すぐ、再び圧縮力を測定した。

取材協力ショップ



アドバンス

神奈川県横浜市都筑区長坂1-41  
☎045-943-5901  
<http://www.advance-jp.com>

ホンダNSXのチューニングをメインに手がけるアドバンスでは、ニューテックオイルの高性能に早くから着目。ニューテックの全商品を取り扱うショップとして、輸入車オーナーからも注目のショップだ。特にメルセデスに関しては、新堀社長自らW124 500Eに惚れ込み、その虜となってしまったほど。メンテナンスについても熟練のメカニックが豊富な経験を元に、様々なトラブルの相談に乗ってくれる。